

「ライオン小田原工場」及び「国立印刷局小田原工場」見学会報告

1月23日（木）に、午前中「ライオン小田原工場」、午後「国立印刷局小田原工場」の2か所を見学してきました。

JR 東海道線国府津駅の改札口に集合、駅前からバスに乗り「ライオン小田原工場」に向かいました。

工場の正門には工場見学の関係者が待っていて、正門での受付はなしに事務所の入口まで引率、その後工場見学担当者に2階の部屋案内され会社の概要をスライドやビデオで説明を受けました。「小田原工場」はライオンの東日本のハミガキ生産拠点であり、唯一の医薬品・機能性表示食品の生産工場とのことでした。その後、工場見学に入りましたが、工場の中の床は歩くとキュツ、キュツとなってきれいに掃除しているなど感じました。

工場へ行く途中の廊下には会社の創立からの歴史・経緯、各年代の製品が展示されていて、展示品を見ながら懐かしさや親近感を感じました。

工場の中では、ガラス越しに製品の流れを見たり、見学担当者から説明を聞いたりしました。見学担当の方の声も良く聞き取りやすく良かったと思っています。

「ライオン小田原工場」を後にして、朝下車したバス停からバスに乗り、JR 鴨宮駅向かい、駅前の食堂で昼食をとりました。

昼食後、徒歩で「国立印刷局小田原工場」に向かいました。

同工場の正門には見学関係の方が私達を待っていて、まずは承認された見学申込書の確認、それが終わると事前に提出していた参加者の住所・氏名・年齢と参加者の身分を証明する書類とのチェックが行われ、無事全員入門が許可され工場の中に入りました。

数分歩いて事務所の部屋に通され、そこで「印刷局」の概要をスライドやビデオを使い、紙幣、切手・印紙、官報、パスポート等の印刷等を行っている等説明を受けました。

次に展示室に移動し、そこで一万円札等のお札の中に隠されている色々の事柄について、装置を使っていろいろと説明をして頂き非常に勉強になりました。

説明された見学担当者の声も良く聞き取りやすく良かったと思っています。

また、一億円の重さは10キロと、実際に持ってみて実感しました。

印刷局の見学後、「印刷局」前のバス停からバスに乗り JR 国府津駅に向かい、見学会は終了しました。